

平成7年度厚生省心身障害研究
「多胎妊娠の管理及びケアに関する研究」

秋田県における多胎児の支援のあり方の検討

(分担研究：多胎児に対するケアのあり方に関する研究)

研究協力者：井上裕司(秋田県大曲保健所) 高階千江子

共同研究者：鈴木一夫(秋田県脳血管研究センター) 佐藤康美(仙北組合病院)

伊藤善信(県保健所長会・本荘保健所) 鈴木紀行(横手保健所・湯沢保健所)

前田光哉・佐藤潤子(県保健衛生課) 奥山一巳(県児童福祉課)

人見 功(県児童相談所) 佐々木恵美子(県精神保健福祉センター)

藤村高広・佐藤徹也・熊澤由美子(大曲保健所)

要 約：秋田県では4つ子以上の多胎児世帯を対象に要綱に基づき県単事業で多胎児支援を実施しているが、平成7年度、ストレス度調査やアンケート調査を行い要綱の見直しを試みた。5つ子の同居家族のストレス度調査では、ヘルパー等のサービスを受けているにもかかわらず、父親以外全員のストレス度が高く特に母親が最も高値を示した。このことから、多胎児の育児に伴う過重な肉体的、精神的負担のあることが判明した。又アンケート調査では多胎児世帯と単胎児世帯ではサービスの提供の主体が異なり、専門的な指導が多胎児世帯には求められていることが判明した。そこで行政として育児支援の体制づくりにさらに努力する必要性が示唆された。

見出し語：多胎妊娠、アンケート、育児支援、ストレス度、行政サービス

【緒 言】

秋田県では、平成5年6月15日、県内初の5つ子の誕生を契機に「5つ子等育児特別支援事業」を設け支援活動を実施している。5つ子を養育するにあたり、精神的、肉体的負担は図り知れない。今回、同居家族4名及び日中世話をしているヘルパーのストレス度を調査した。その結果父親以外全員のストレス度が高く、特に母親が深刻な事態であった。そこで、5つ子のみならず多胎を出産・育児している世帯と、単胎を出産・育児している世帯と比べ、精神的負担の程度を知るとともに、母子保健及び医療・情報・福祉サービスの充足度について調査検討した。

【研究方法】

1. 5つ子の同居家族4名及びヘルパー1名に対し、ストレス度の調査を次の方法で実施した。

(1) 個別面接による聞き取り調査

(2) 質問紙法(Pines Burnout Measure、GHQ精神健康)の実施(質問用紙は郵送により回収)

2. 多胎児妊娠・出産及び単胎児妊娠・出産している世帯にアンケート調査を実施した。調査対象地区は、秋田県の大曲保健所・大曲保健所角館支所・本荘保健所・横手保健所・湯沢保健所の4保健所・1支所管内とした。調査対象者は以下のとおりである。

①秋田県に在住の昭和63年4月2日から平成7年11月30日までに双胎以上を出産した母親及び平成7年12月1日現在双胎以上を妊娠している妊婦。(合計245世帯)

②対照群として、上記年度の期間に単胎出産した母親及び出産を予定している妊婦(合計245世帯)

①②に対しアンケートを郵送方式の無記名で実施した。なお平成7年度は、4保健所・1支所のうち大曲保健所と大曲保健所角館支所を、また多胎児育児中と単胎児育児中の世帯を比較検討し評価した。

【研究結果】

1. 5つ子の同居家族4名及びヘルパー1名に対するストレス度の調査結果

ストレスの状況は表1のとおり母親が最も心身ともに疲弊し、その程度はかなり重篤であった。疲弊の程度は次いで祖母、ヘルパー、叔母の順に重かったが、これは両テストで一致していた。中でも母親は身体的症状と不安不眠の症状が中等度以上であり、逆に父親は心身ともに安定している状態だった。育児への関与度(時間・責任の重さなど)は、母親・祖母・ヘルパーの順に大きいと予想されるが、この順と精神的身体的疲労度の重さが一致していた。

表(1) 質問表結果(ストレス度)

	GHQ 得点	身体的 症状	不安 不眠	社会的 活動障害	うつ 状態	Burnout Measure得点	育児の関与度
母親	41	7	6	4	0	5.67(激しい疲弊状態)	育児全般
父親	4					2.10(心身とも健全)	入浴のみ
祖母	33	5	4	4	0	3.81(推定)警戒兆候	育児補助
叔母	18	2	5	0	0	3.05(警戒兆候)	休日手伝い
ヘルパー	22	2	5	3	0	3.33(警戒兆候)	4時間の育児

- GHQ得点: 17点以上が精神的に不健康(神経症)、得点が高い程、不健康の程度は重い。

身体的症状、不安不眠社会的活動障害、うつ状態 5以上: 中等度以上の異常

3~4: 軽度の症状

- Pines Burnout Measure得点:
 - 2.0-2.9: 精神的に安定し心身ともに健康
 - 3.0-3.9: Burnoutの警戒兆候
 - 4.0-4.9: Burnoutに陥っており、心身の疲弊が激しい

2. 多胎児育児中・単胎児育児中のアンケート結果

回収率は、多胎児育児中（以下多胎群）90世帯中76世帯（84.4%）、単胎児育児中（以下単胎群）106世帯中85世帯（80.2%）の回収率を得た。また、多胎状況は双胎74世帯、品胎1世帯、5胎1世帯であった。家族構成は多胎・単胎世帯とも3世代家族が大半（62～71%）を占めていた（図表0）。

（1）医療サービス

多胎群に不妊治療の有無を聞いたところ「有」は76世帯中13世帯（17.1%）であった（図表1①）。治療の内容は排卵誘発剤及び体外受精が46.2%と最も多かった（図表1②）。多胎妊娠の告知時期は、妊娠2カ月（50.0%）、妊娠3カ月（31.6%）で、81.6%が妊娠初期であった（図表②）。妊娠中に入院した世帯は、多胎群は84.2%、単胎群は37.6%と大差があった（図表3①）。入院の理由は、多胎群は単胎群に比して早産防止、妊娠中毒症の占める割合が高かった（図表3②）。妊娠中の平均入院日数は、多胎群は単胎群のほぼ2倍に達していた（図表3③）。なお、入院医療サービスの改善を希望する声は単胎群、多胎群間で差はなかった（図表3③）。

（2）保健・情報サービス

妊婦健診は単胎群、多胎群とも半数以上が改善の要望があった（図表4）。要望の内容は、「定期検診を公費で負担してほしい」が、両群でともにトップであった（単胎群55.7%、多胎群54.5%）。他方「医療費を公費で負担して欲しい」は多胎群の方が多かった。出産した医療機関は単胎群では総合病院での出産が70%以上を占め、多胎群はその割合は更に高かった（図表5）。妊娠前に妊娠（または多胎妊娠）について情報を得る機会があったかを両群に聞いたところ、多胎群は単胎群に比して情報を得る機会が少なかったと答えていた。また、主治医から妊娠前に（多胎児）妊娠・出産について説明を受けたかは、多胎群は「十分な説明を受けた」9.2%、「全く受けなかった」43.4%という結果になっていた（図表6）。妊娠中（多胎）、「妊婦を対象とした母親学級や保健指導を受けたか」を聞いたところ、提供主体は何であれ、単胎群ではほぼその3/4は利用できているが、多胎群では14.5%のみであった（図表7①-1）。また、その提供主体は、両群とも病院が最も多いもの（40%以上）、単胎妊娠を対象とした指導は市町村実施が多く、多胎妊婦を対象にした指導は、保健所実施が病院実施に次いで多いが、その数は11名中3名（27.3%）と少なかった（図表7①-2）。妊婦中の訪問指導を受けたのは、単胎群35.3%、多胎群30.3%であった（図表7②-1）。また妊娠中に「育児方法や制度、行政的支援の情報を得る機会があったか」を聞いたところ、単胎群は6割が情報サービスを受けている一方、多胎群向けの情報提供は13.2%にとどまっている現状であった。（図表7③-1）。特に、多胎群では単胎群に比して病院による提供が占めており、保健所や市町村の活動は不活発であった（図表7③-2）。また、「出産前の予想と出産後とで大違いであった」割合が多胎群に多くみられた（図表7④）。そこで多胎群に既に多胎妊娠・出産を体験した母親との個人面談の希望を聞いたところ、6

割が「希望する」との回答があった（図表7⑤）。そのほか妊娠中の情報提供については、両群からともに今後求められているのは保健婦（45%）、次いで産婦人科医（42%）であった（図表7⑥）。次に出産後に（多胎）児の「育児方法や制度、行政的支援の情報を得る機会があったか」を聞いたところ、妊娠中（図表7③-1）よりは両群とも入手しやすくなっているものの、なお多胎群には不利な状況となつている（図表8①-1）。また、保健所は最大の情報提供主体（46.2%）となっているが、市町村からの多胎群に対する情報提供（23.1%）は少ない（図表8①-2）。「子ども間の発育の差があることに気になるか」の問いに「全く気にならない」は単胎群（23.5%）、多胎群（39.5%）であった。また「育児不安を含め、何でも相談し解消できる相手がいつも確保できている」のは、両群ともに5割に達していた。（図表8③）

（3）育児状況・福祉サービス

多胎群の方が夫の協力はかなり得られているが、「非常に夫の協力を感じる」には4割に満たない（図表9①）。もっとも、夫以外に家事・育児について、協力してくれる人が既に確保されている方は8割以上で、その内訳は夫の母、次いで妻の母（図表9②）となっている。また、「当該単胎（多胎）児以外の兄弟の世話をする余裕」について聞いてみると、多胎群の方がやや余裕が少なかった（図表9③）。「周囲の人の育児の大変さの理解度」については、多胎群の方がよく理解してもらっていた（図表9④）。「単胎（多胎）見を産んでよかったと思うか」（図表9⑤）という問いに対し「非常に」または「たびたび」感じる方は多胎の方が少なくなっている。「睡眠不足を感じている」は、両群間で大差なく、3割以上の方が「非常に」ないし「たびたび」感じている（図表9⑥）。「仕事について」は「続けている」が6割（図表9⑦）を占めており、仕事と家庭の両立の大変さも両群とも「非常に感ずる」が3割（図表9⑧）を占めてあった。「自分のやりたいことができないことへのあせり」については両群ともに6割以上が「少しあり」と感じている（図表9⑨）。「日中に子どもをつれて外出する余裕」については、両群とも同様の傾向を示したが、十分あると答えたのは2割程度（図表9⑩）であった。「家庭内の人間関係」については、多胎群では「あまりよくない」「よくない」を合計すると15.8%（単胎群9.5%）となっている（図表9⑪）。また「多胎児を出産したことで家族関係が悪くなったか」については、「全く感じない」が7割を占める一方で「非常に」「たびたび」「少し」を合わせると15.7%である（図表9⑫）。育児支援のために定期的に家庭訪問を希望する職種（図表9⑬）については、多胎群は、単胎群よりも、強く経験を同じくする先達への相談を待ち望んでいた。ヘルパー（職務：育児、掃除、洗濯、買い物、調理、おむつ交換等全般）の援助については、多胎群の方が、単胎群の2倍以上の要望があった（図表9⑭）。また、希望者に来て欲しい時間帯を聞いたところ（図表9⑮）、単胎群では「①食事の準備②掃除③買い物＝保育園への送迎」、多胎群では「①食事の準備②遊び（散歩も含む）の世話③食事の後片付け＝保育所等への送迎」の順であった。出産に伴う出費増（図表9⑯）については、単胎群（38.8%）、多胎群（47.4%）で、多胎群の方

がやや高かった。また投資の内容は、多胎群に特に多かったのが車、冷蔵庫、洗濯機であった。しかし実家からの支援を受けたのは、多胎群の方が少なかった。（図表9⑩）

（4）その他

育児等をする上で行政に期待する支援内容（図表10）では、単胎群、多胎群とも、①「児童手当の改善」、②＝③「出産育児一時金の増額」「市町村福祉医療制度の充実」の順位であった。

【考察】

1. 5つ子の同居家族については、疲労度が高くストレスへの対処行動が少ない母親への支援が必要と思われた。具体的には、仮眠の確保、子供の受診がしやすいような体制作りであり、これには家族の協力はもとより、ヘルパーの存在が不可欠である。また、ストレスを乗り越えるには情緒的な支援者の存在が重要だが、母親は身近に情緒的な支援者が不在で、家庭内でも孤立感が強い。心身ともに安定している父親が、子供のことを話し合ったり、育児の労をねぎらうなど母親を情緒的に支援できるよう指導する必要があると考えられる。また父親以外に家庭訪問などによる母親への情緒的支援や、ストレスの対処行動へのアドバイスなども考えられるが、この場合母親の意志を尊重するなどの配慮が必要と思われる。この他に「双子教室」の活用、「他の多胎児をもつ親との交流」ができるような支援が考えられる。なお平成8年4月に子供達が保育園に入園することによって、家族、ヘルパーのストレス状況や問題点が変化することも予想されるので、平成8年4月以降、再度検討が必要であろう。

2. アンケート調査では、回収率が両群とも8割と高く、母子保健、医療・情報・福祉サービスに対する関心の高さが伺えた。医療サービスについては、多胎と妊娠初期に診断告知されたのは81.6%と高かったが、主治医から妊娠、出産について十分な説明を受けた者は少なく全く受けなかった者が4割もいた。このことから、今後、医師と患者のインフォームドコンセントの確立が大切と考える。また、妊婦を対象にした母親学級や保健指導は単胎群が多胎群より受講している割合が高く、提供主体は病院が最も多かった。妊娠中における育児方法や制度、行政的支援情報については、単胎群は6割が受けているのに対し多胎群は13.2%で、これも提供主体は両群とも病院が最も多かった。

以上のことから、あらゆる情報提供は主に病院で得ており、それに比して保健所・市町村の活動は不活発であったことから、特に行政サイドの多胎妊婦向けの情報伝達に一考を要すると考える。また、多胎妊娠は異常が多く、入院する機会が多い事実から、異常の早期発見に努め、家族の協力を得ながら日常生活の仕方や安静等について、主治医師と連携を取りながら行政として地域で管理（ケアコーディネイト）していかななくてはならないと考える。また、多胎群に既に多胎妊娠、出産を体験した母親との個別面談の希望を聞いたところ、6割から「希望する」と回答があり、今後希望者には提供できる仕組みが望まれる。また、育児支援のために定期的に家庭訪問を希望する職種については、多胎群は、単胎群よりも、明らかに経験を同じくする先達（多胎経産婦）を待ち望んでおり、保母、保健婦、

助産婦、看護婦は単胎群からの訪問要望が強い。これは、同じ立場の母親を行政が支援(研修の実施、活動に係る財政的手当等)して希望者宅を訪問させるなどの施策を期待しているものと考えられる。他方、特に母子保健が市町村へ委譲される中で、単胎群に対して市町村保健婦が実効ある訪問・助言ができるように、市町村保健婦への研修が、訪問される側のニーズを汲み上げた上で企画されることが求められている。一方、ヘルパーの援助については、多胎群が、単胎群の2倍以上の要望があったことから、多胎児育児世帯からの要望があればヘルパーを派遣するという仕組みが求められている。

いずれにせよ、今回の調査で多胎児育児に対する母子保健及び医療・情報・福祉サービスが不十分であることが示唆された。これを機に行政として育児支援の体制づくりの必要性が明らかになり、医療・保健・福祉等関係機関と連携しながらニーズにあったケアコーディネートを行える体制作り、地域づくりに着手していかなくてはならないと考える。

【平成8年度の子定】

ストレス度の設問結果の集計、自由記載事項のまとめや平成7年度の調査結果を踏まえ、行政上の施策へ展開するにあたっての提言等を行う予定である。

Abstract

Akita prefectural government is supporting families which raise over quadruple infants since 1993 according to the supporting guideline. As our research of 1995, we plan to reassess this supporting system by psychological stress test on one family that raises quintuplets and questionnaire survey for families that raise infants living on the southern area of Akita prefecture.

According to the outcome of psychological stress test on one family that raises quintuplets, we have found that the wife in that family, has been annoyed by much severer stress than her husband, his sister and mother though a public homemaker has supported the wife according to the prefectural present guideline.

So, we plan to reassess this supporting guideline by the questionnaire survey for families that raise infants living on the south area of Akita prefecture.

According to the outcome of this questionnaire survey, different sector has provided informations for raising children to non-multiple pregnant wives and multiple pregnant wives.

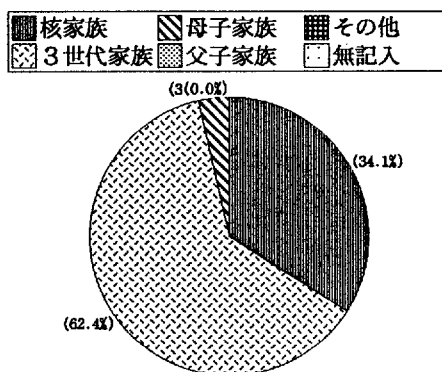
Also, the specialized information service are requested from multiple pregnant wives.

(Key words: Multiple pregnancy, questionnaire, support for raising children, psychological stress, public service)

図表0

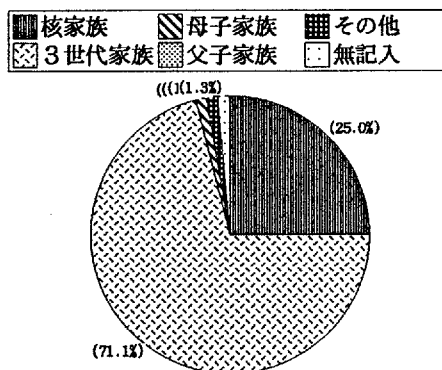
• 家族構成 単胎児育児

1	核家族	29	34.1%
2	3世代家族	53	62.4%
3	母子家族	3	3.5%
4	父子家族	0	0.0%
5	その他	0	0.0%
6	無記入	0	0.0%
	計	85	100.0%



多胎児育児

1	核家族	19	25.0%
2	3世代家族	54	71.1%
3	母子家族	1	1.3%
4	父子家族	0	0.0%
5	その他	1	1.3%
6	無記入	1	1.3%
	計	76	100.0%

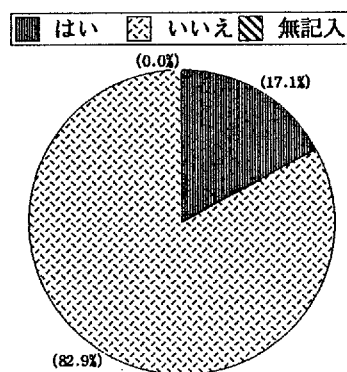


図表1①

• あなたは、不妊治療を受けていましたか。

多胎児育児

1	はい	13	17.1%
2	いいえ	63	82.9%
3	無記入	0	0.0%
	計	76	100.0%

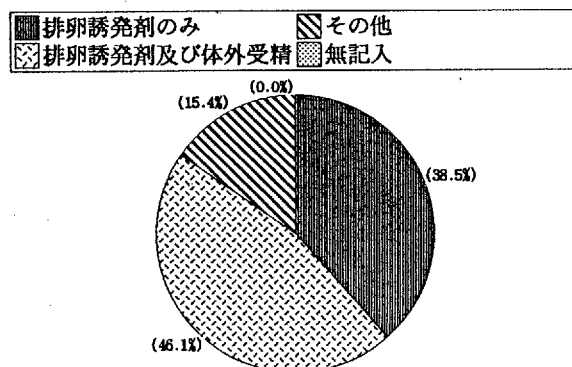


図表1②

• 治療方法について

多胎児育児

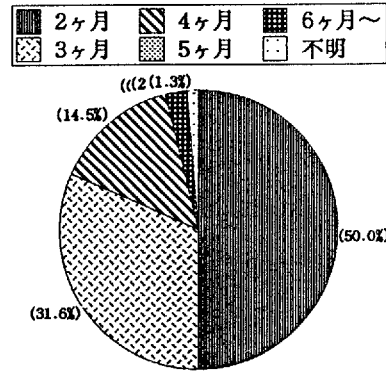
1	排卵誘発剤のみ	5	38.5%
2	排卵誘発剤及び体外受精	6	46.2%
3	その他	2	15.4%
4	無記入	0	0.0%
	計	13	100.0%



図表2

• あなたは妊娠何カ月で多胎と医師から知ら
 されましたか。

1	2ヶ月(4~7週)	38	50.0%
2	3ヶ月(8~11週)	24	31.6%
3	4ヶ月(12~15週)	11	14.5%
4	5ヶ月(16~19週)	0	0.0%
5	6ヶ月以降(20週~)	2	2.6%
6	不明	1	1.3%
計		76	100.0%



図表3①

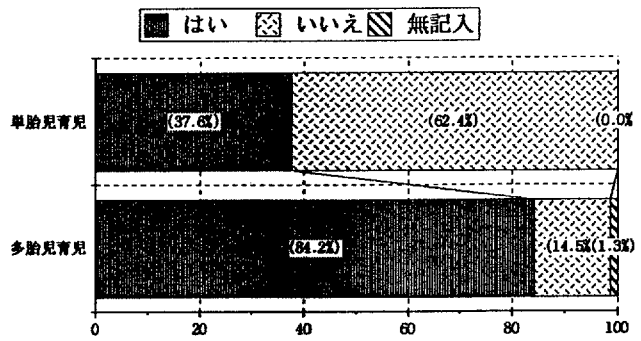
• 妊娠中入院しましたか。

単胎児育児

1	はい	32	37.6%
2	いいえ	53	62.4%
3	無記入	0	0.0%
計		85	100.0%

多胎児育児

1	はい	64	84.2%
2	いいえ	11	14.5%
3	無記入	1	1.3%
計		76	100.0%



図表3②

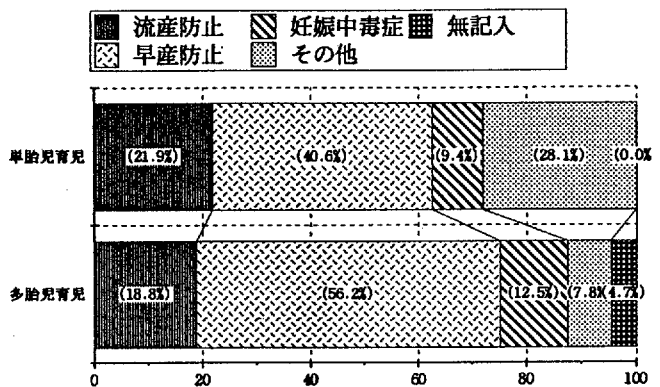
• 入院理由は何ですか。

単胎児育児

1	流産防止	7	21.9%
2	早産防止	13	40.6%
3	妊娠中毒症	3	9.4%
4	その他	9	28.1%
5	無記入	0	0.0%
計		32	100.0%

多胎児育児

1	流産防止	12	18.8%
2	早産防止	36	56.3%
3	妊娠中毒症	8	12.5%
4	その他	5	7.8%
5	無記入	3	4.7%
計		64	100.0%



図表3③

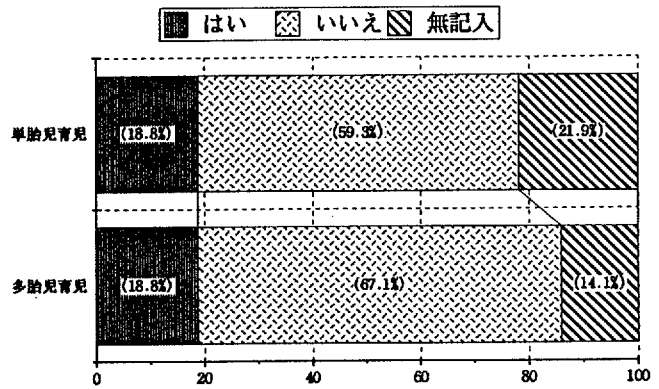
・入院期間はどれぐらいでしたか。

単胎児育児		
1	入院時平均週数	17.7 (2~38)
2	退院時平均週数	21.9 (3~40)
3	平均入院期間 (日)	22.4 (5~90)
多胎児育児		
1	入院時平均週数	21.5 (1~41)
2	退院時平均週数	31.7 (2~41)
3	平均入院期間 (日)	42.9 (1~180)

図表3④

・医療サービスの改善を希望しますか。

単胎児育児			
1	はい	6	18.8%
2	いいえ	19	59.4%
3	無記入	7	21.9%
		32	100.0%
多胎児育児			
1	はい	12	18.8%
2	いいえ	43	67.2%
3	無記入	9	14.1%
	計	64	100.0%



図表4

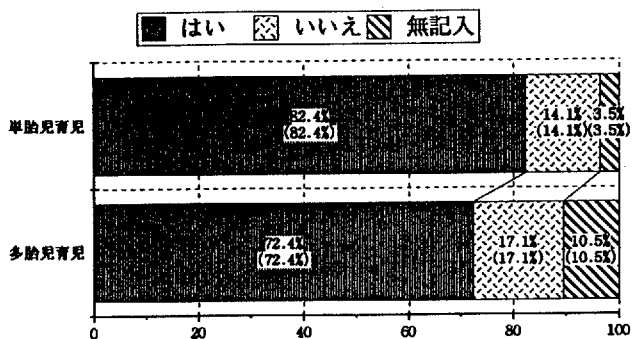
・妊婦健診2回は公費で支払われていますが、改善して欲しいことはありますか。

単胎児育児

1	はい	70	82.4%
2	いいえ	12	14.1%
3	無記入	3	3.5%
計		85	100.0%

多胎児育児

1	はい	55	72.4%
2	いいえ	13	17.1%
3	無記入	8	10.5%
計		76	100.0%



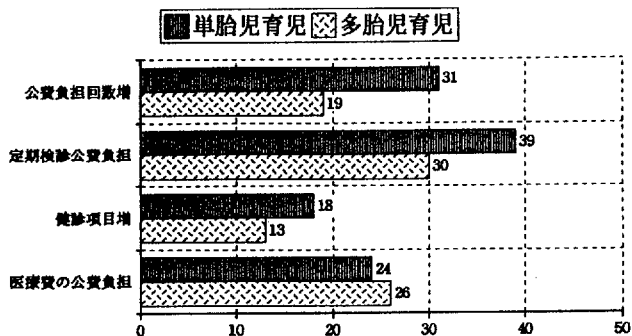
複数回答

単胎児育児

1	公費負担回数増	31	44.3%
2	定期検診公費負担	39	55.7%
3	健診項目増	18	25.7%
4	医療費の公費負担	24	34.3%

多胎児育児

1	公費負担回数増	19	34.5%
2	定期検診公費負担	30	54.5%
3	健診項目増	13	23.6%
4	医療費の公費負担	26	47.3%



回答項目詳細

1	公費負担の回数を増やして欲しい
2	公費負担以外の定期健診の費用を保険の適用にして欲しい
3	公費負担の健診項目を増やして欲しい
4	医療にかかった料金についても公費負担にして欲しい
計	

図表5

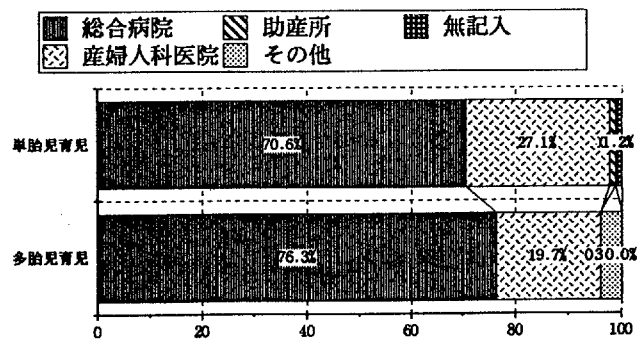
・出産した医療機関について教えてください。

単胎児育児

1	総合病院	60	70.6%
2	産婦人科医院	23	27.1%
3	助産所	1	1.2%
4	その他	0	0.0%
5	無記入	1	1.2%
計		85	100.0%

多胎児育児

1	総合病院	58	76.3%
2	産婦人科医院	15	19.7%
3	助産所	0	0.0%
4	その他	3	3.9%
5	無記入	0	0.0%
計		76	100.0%



図表6

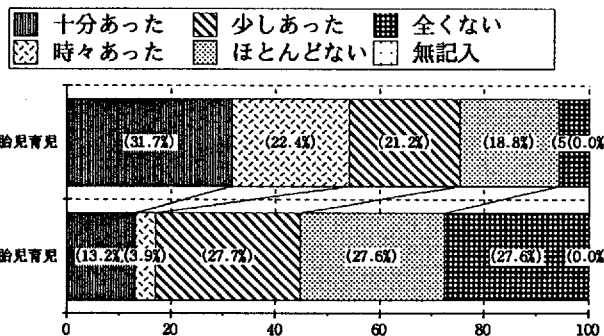
• あなたは、妊娠前に妊娠について、
情報を得る機会がありましたか。

単胎児育児

a	十分あった	27	31.8%
b	時々あった	19	22.4%
c	少しあった	18	21.2%
d	ほとんどない	16	18.8%
e	全くない	5	5.9%
x	無記入	0	0.0%
	計	85	100.0%

多胎児育児

a	十分あった	10	13.2%
b	時々あった	3	3.9%
c	少しあった	21	27.6%
d	ほとんどない	21	27.6%
e	全くない	21	27.6%
x	無記入	0	0.0%
	計	76	100.0%



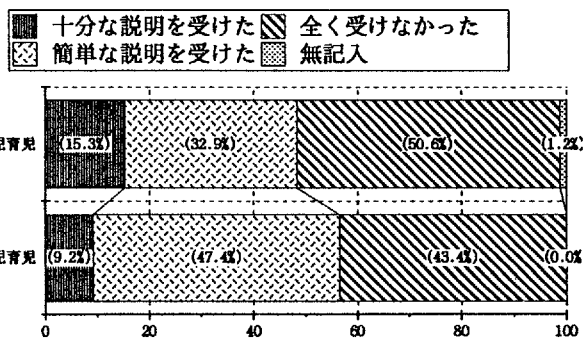
• あなたは、妊娠前に主治医から妊娠・
出産について説明を受けましたか。

単胎児育児

1	十分な説明を受けた	13	15.3%
2	簡単な説明を受けた	28	32.9%
3	全く受けなかった	43	50.6%
4	無記入	1	1.2%
	計	85	100.0%

多胎児育児

1	十分な説明を受けた	7	9.2%
2	簡単な説明を受けた	36	47.4%
3	全く受けなかった	33	43.4%
4	無記入	0	0.0%
	計	76	100.0%



図表7①-1

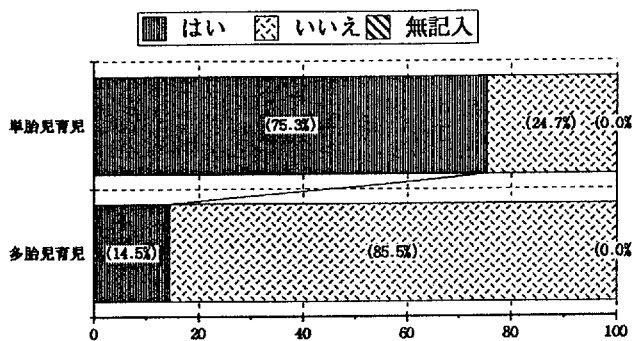
•あなたは、妊娠中母親学級や保健指導を受けましたか。

単胎児育児

1	はい	64	75.3%
2	いいえ	21	24.7%
3	無記入	0	0.0%
計		85	100.0%

多胎児育児

1	はい	11	14.5%
2	いいえ	65	85.5%
3	無記入	0	0.0%
計		76	100.0%



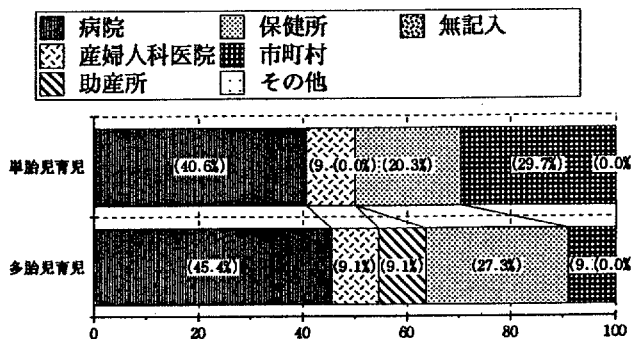
図表7①-2

単胎児育児

a	病院	26	40.6%
b	産婦人科医院	6	9.4%
c	助産所	0	0.0%
d	保健所	13	20.3%
e	市町村	19	29.7%
f	その他	0	0.0%
x	無記入	0	0.0%
計		64	100.0%

多胎児育児

a	病院	5	45.5%
b	産婦人科医院	1	9.1%
c	助産所	1	9.1%
d	保健所	3	27.3%
e	市町村	1	9.1%
f	その他	0	0.0%
x	無記入	0	0.0%
計		11	100.0%

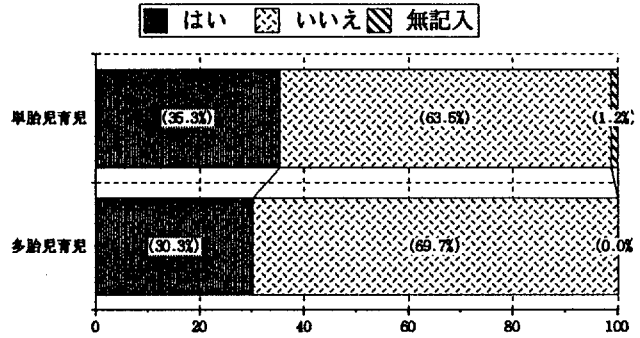


図表7②

・妊娠中、訪問指導を受けましたか。

1	はい	30	35.3%
2	いいえ	54	63.5%
3	無記入	1	1.2%
計		85	100.0%

1	はい	23	30.3%
2	いいえ	53	69.7%
3	無記入	0	0.0%
計		76	100.0%



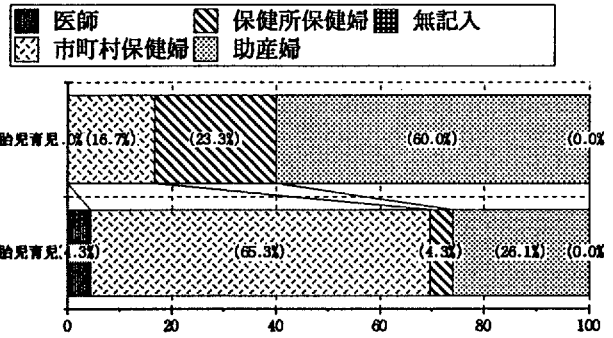
職種は何ですか

単胎児育児

1	医師	0	0.0%
2	市町村保健婦	5	16.7%
3	保健所保健婦	7	23.3%
4	助産婦	18	60.0%
5	無記入	0	0.0%
計		30	100.0%

多胎児育児

1	医師	1	4.3%
2	市町村保健婦	15	65.2%
3	保健所保健婦	1	4.3%
4	助産婦	6	26.1%
5	無記入	0	0.0%
計		23	100.0%



図表7③-1

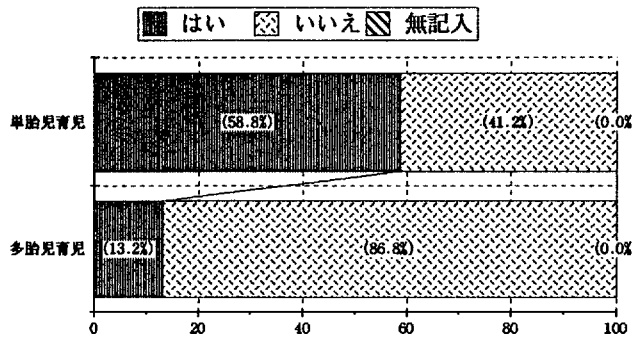
・あなたは、妊娠中に育児方法や制度、行政的支援について、情報を得る機会がありましたか。

単胎児育児

1	はい	50	58.8%
2	いいえ	35	41.2%
3	無記入	0	0.0%
計		85	100.0%

多胎児育児

1	はい	10	13.2%
2	いいえ	66	86.8%
3	無記入	0	0.0%
計		76	100.0%



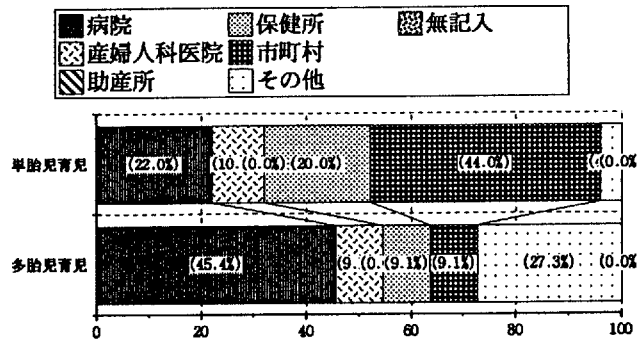
図表7③-2

単胎児育児

a	病院	11	22.0%
b	産婦人科医院	5	10.0%
c	助産所	0	0.0%
d	保健所	10	20.0%
e	市町村	22	44.0%
f	その他	2	4.0%
x	無記入	0	0.0%
計		50	100.0%

多胎児育児

a	病院	5	45.5%
b	産婦人科医院	1	9.1%
c	助産所	0	0.0%
d	保健所	1	9.1%
e	市町村	1	9.1%
f	その他	3	27.3%
x	無記入	0	0.0%
計		11	100.0%



図表7④

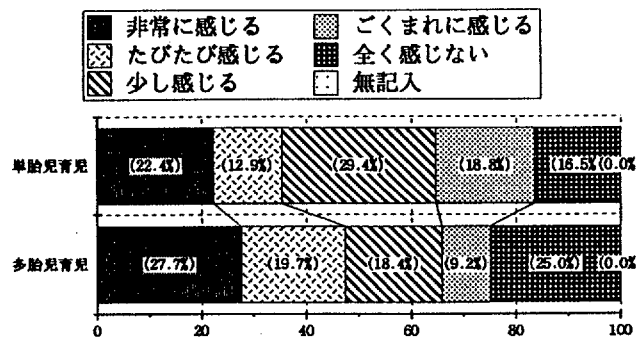
- あなたは、子育てについて、出産前の予想と実際に生まれてからでは、予想が大きく違っていると感じていますか。

単胎児育児

a	非常に感じる	19	22.4%
b	たびたび感じる	11	12.9%
c	少し感じる	25	29.4%
d	ごくまれに感じる	16	18.8%
e	全く感じない	14	16.5%
x	無記入	0	0.0%
計		85	100.0%

多胎児育児

a	非常に感じる	21	27.6%
b	たびたび感じる	15	19.7%
c	少し感じる	14	18.4%
d	ごくまれに感じる	7	9.2%
e	全く感じない	19	25.0%
x	無記入	0	0.0%
計		76	100.0%

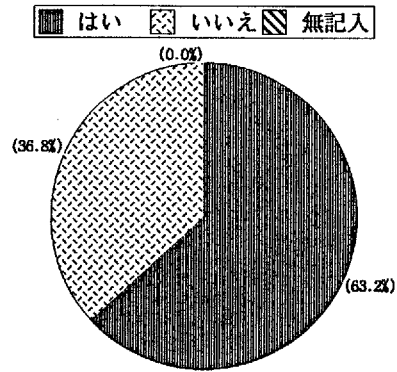


図表7⑤

- あなたは、妊娠中と同じ多胎を妊娠し出産した母親に体験を聞くため1対1での面談があったらよかったですか。

多胎児育児

1	はい	48	63.2%
2	いいえ	28	36.8%
3	無記入	0	0.0%
計		76	100.0%



図表7⑥

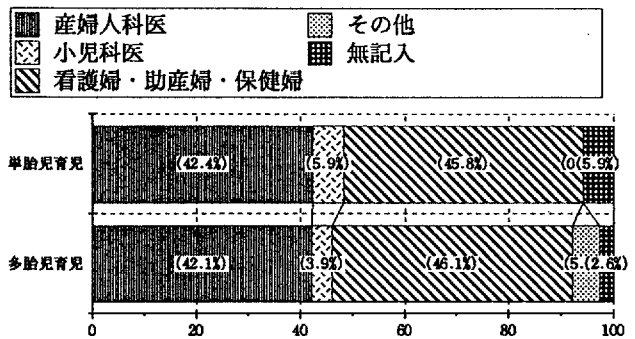
- 妊娠中、どんな職種からの情報提供があったらよかったですか。

単胎児育児

1	産婦人科医	36	42.4%
2	小児科医	5	5.9%
3	看護婦・助産婦・保健婦	39	45.9%
4	その他	0	0.0%
5	無記入	5	5.9%
計		85	100.0%

多胎児育児

1	産婦人科医	32	42.1%
2	小児科医	3	3.9%
3	看護婦・助産婦・保健婦	35	46.1%
4	その他	4	5.3%
5	無記入	2	2.6%
計		76	100.0%



図表8①-1

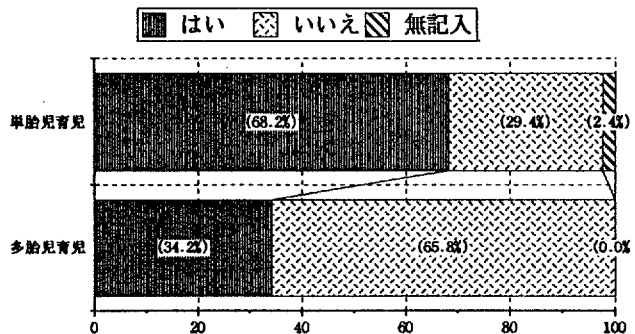
- あなたは、出産後に育児方法や制度、行政的支援について、情報を得る機会がありましたか。

単胎児育児

1	はい	58	68.2%
2	いいえ	25	29.4%
3	無記入	2	2.4%
計		85	100.0%

多胎児育児

1	はい	26	34.2%
2	いいえ	50	65.8%
3	無記入	0	0.0%
計		76	100.0%



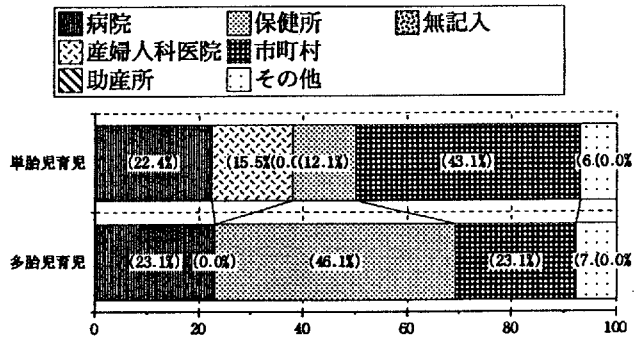
図表8①-2

単胎児育児

a	病院	13	22.4%
b	産婦人科医院	9	15.5%
c	助産所	0	0.0%
d	保健所	7	12.1%
e	市町村	25	43.1%
f	その他	4	6.9%
x	無記入	0	0.0%
計		58	100.0%

多胎児育児

a	病院	6	23.1%
b	産婦人科医院	0	0.0%
c	助産所	0	0.0%
d	保健所	12	46.2%
e	市町村	6	23.1%
f	その他	2	7.7%
x	無記入	0	0.0%
計		26	100.0%



図表8②

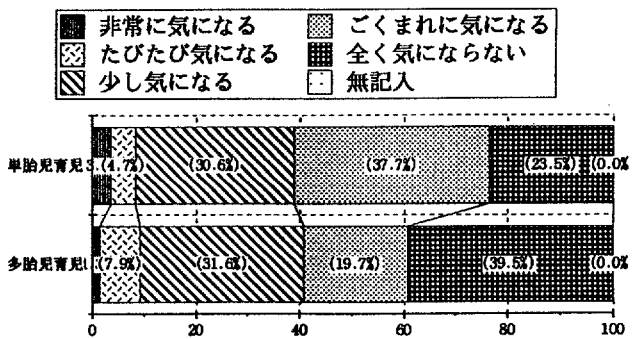
- あなたは、子どもの発育に差があることが気になりますか。

単胎児育児

a	非常に気になる	3	3.5%
b	たびたび気になる	4	4.7%
c	少し気になる	26	30.6%
d	ごくまれに気になる	32	37.6%
e	全く気にならない	20	23.5%
x	無記入	0	0.0%
計		85	100.0%

多胎児育児

a	非常に気になる	1	1.3%
b	たびたび気になる	6	7.9%
c	少し気になる	24	31.6%
d	ごくまれに気になる	15	19.7%
e	全く気にならない	30	39.5%
x	無記入	0	0.0%
計		76	100.0%

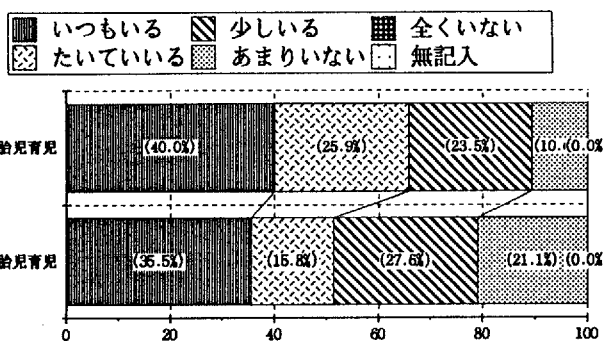


図表8③

•あなたは、困ったときに気楽に相談できる人がいますか。

a	いつもいる	34	40.0%
b	たいていいる	22	25.9%
c	少しいる	20	23.5%
d	あまりいない	9	10.6%
e	全くいない	0	0.0%
x	無記入	0	0.0%
計		85	100.0%

a	いつもいる	27	35.5%
b	たいていいる	12	15.8%
c	少しいる	21	27.6%
d	あまりいない	16	21.1%
e	全くいない	0	0.0%
x	無記入	0	0.0%
計		76	100.0%

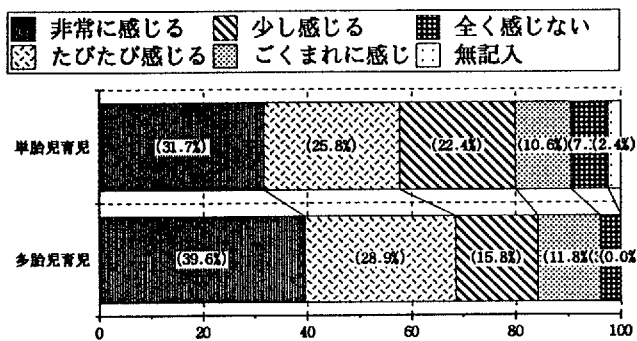


図表9①

•あなたの夫は、育児に協力してくれると感じますか。

a	非常に感じる	27	31.8%
b	たびたび感じる	22	25.9%
c	少し感じる	19	22.4%
d	ごくまれに感じ	9	10.6%
e	全く感じない	6	7.1%
x	無記入	2	2.4%
計		85	100.0%

a	非常に感じる	30	39.5%
b	たびたび感じる	22	28.9%
c	少し感じる	12	15.8%
d	ごくまれに感じ	9	11.8%
e	全く感じない	3	3.9%
x	無記入	0	0.0%
計		76	100.0%



図表9②

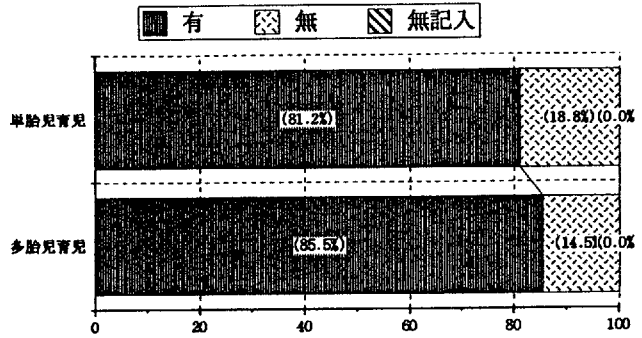
- 夫以外に家事や育児について気軽に協力してくれる人はありますか。

単胎児育児

1	有	69	81.2%
2	無	16	18.8%
3	無記入	0	0.0%
計		85	100.0%

多胎児育児

1	有	65	85.5%
2	無	11	14.5%
3	無記入	0	0.0%
計		76	100.0%

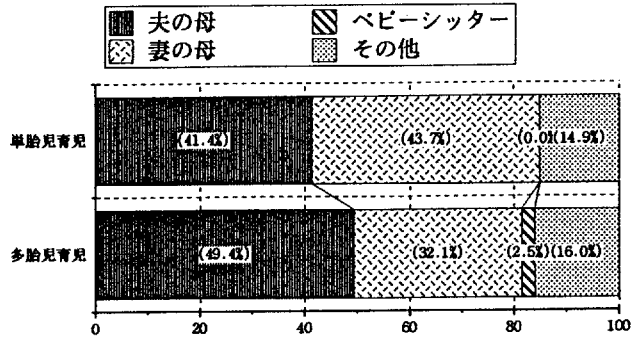


単胎児育児

a	夫の母	36	42.4%
b	妻の母	38	44.7%
c	ベビーシッター	0	0.0%
d	その他	13	15.3%

多胎児育児

a	夫の母	40	52.6%
b	妻の母	26	34.2%
c	ベビーシッター	2	2.6%
d	その他	13	17.1%



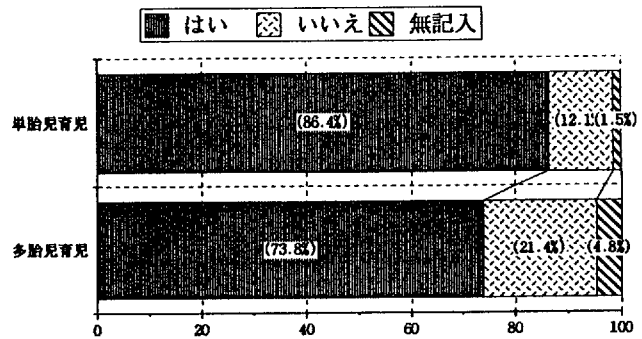
図表9③

- 子供さんが2人以上いる方について教えてください。
あなたは、一番下のお子さんの兄弟の世話をする余裕はありますか。

1	はい	57	86.4%
2	いいえ	8	12.1%
3	無記入	1	1.5%
計		66	100.0%

- 子供（多胎児以外）がいる人のみお答え下さい。
あなたは、当該多胎児の兄弟(姉妹)の世話をする余裕はありますか。

1	はい	31	73.8%
2	いいえ	9	21.4%
3	無記入	2	4.8%
計		42	100.0%



図表9④

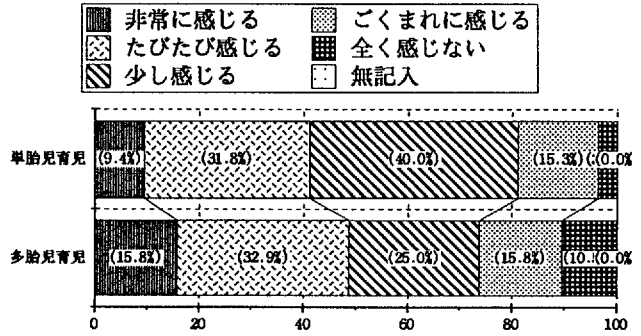
•あなたは、育児の大変さを周囲の人に理解してもらっていると感じますか。

単胎児育児

a	非常に感じる	8	9.4%
b	たびたび感じる	27	31.8%
c	少し感じる	34	40.0%
d	ごくまれに感じる	13	15.3%
e	全く感じない	3	3.5%
x	無記入	0	0.0%
計		85	100.0%

多胎児育児

a	非常に感じる	12	15.8%
b	たびたび感じる	25	32.9%
c	少し感じる	19	25.0%
d	ごくまれに感じる	12	15.8%
e	全く感じない	8	10.5%
x	無記入	0	0.0%
計		76	100.0%



図表9⑤

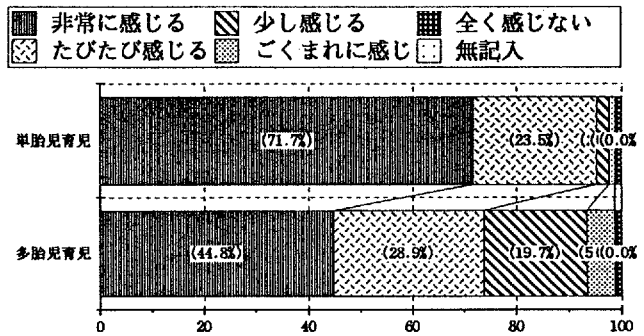
•あなたは、お子さんを生んでよかったと感じますか。

単胎児育児

a	非常に感じる	61	71.8%
b	たびたび感じる	20	23.5%
c	少し感じる	2	2.4%
d	ごくまれに感じ	1	1.2%
e	全く感じない	1	1.2%
x	無記入	0	0.0%
計		85	100.0%

多胎児育児

a	非常に感じる	34	44.7%
b	たびたび感じる	22	28.9%
c	少し感じる	15	19.7%
d	ごくまれに感じ	4	5.3%
e	全く感じない	1	1.3%
x	無記入	0	0.0%
計		76	100.0%



図表9⑥

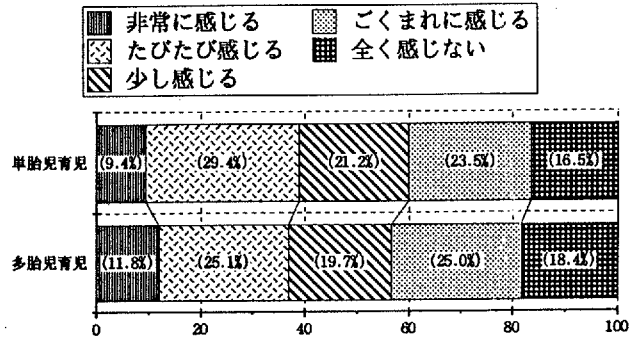
•あなたは、睡眠不足を感じていますか。

単胎児育児

a	非常に感じる	8	9.4%
b	たびたび感じる	25	29.4%
c	少し感じる	18	21.2%
d	ごくまれに感じる	20	23.5%
e	全く感じない	14	16.5%
x	無記入	0	0.0%
計		85	100.0%

多胎児育児

a	非常に感じる	9	11.8%
b	たびたび感じる	19	25.0%
c	少し感じる	15	19.7%
d	ごくまれに感じる	19	25.0%
e	全く感じない	14	18.4%
x	無記入	0	0.0%
計		76	100.0%



図表9⑦

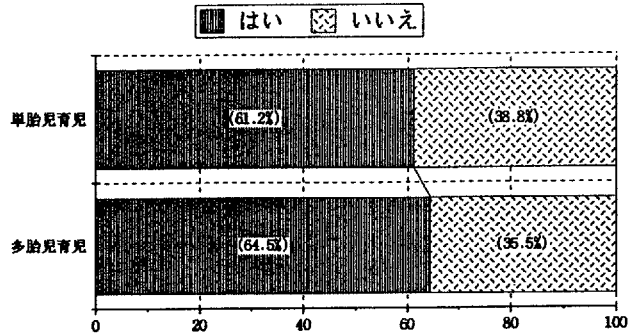
•あなたは、現在お仕事をしていますか。(内職も含む)

単胎児育児

1	はい	52	61.2%
2	いいえ	33	38.8%
3	無記入	0	0.0%
計		85	100.0%

多胎児育児

1	はい	49	64.5%
2	いいえ	27	35.5%
3	無記入	0	0.0%
計		76	100.0%



図表9⑧

・仕事をしている人で

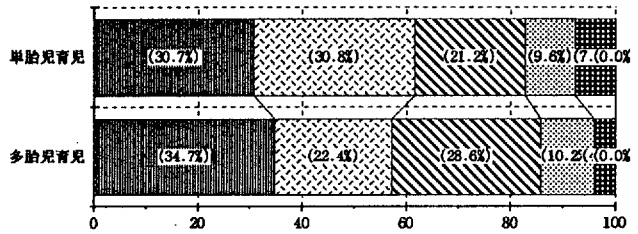
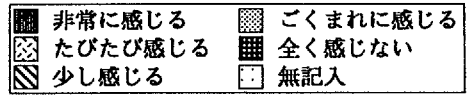
仕事と家事の両立を大変と感じていますか。

単胎児育児

a	非常に感じる	16	30.8%
b	たびたび感じる	16	30.8%
c	少し感じる	11	21.2%
d	ごくまれに感じる	5	9.6%
e	全く感じない	4	7.7%
x	無記入	0	0.0%
計		52	100.0%

多胎児育児

a	非常に感じる	17	34.7%
b	たびたび感じる	11	22.4%
c	少し感じる	14	28.6%
d	ごくまれに感じる	5	10.2%
e	全く感じない	2	4.1%
x	無記入	0	0.0%
計		49	100.0%



図表9⑨

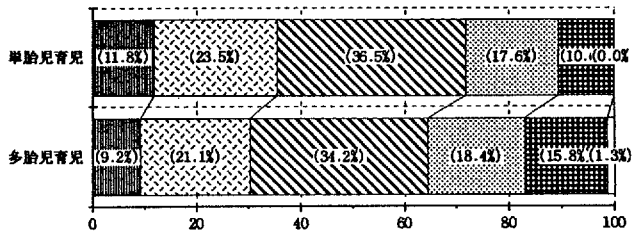
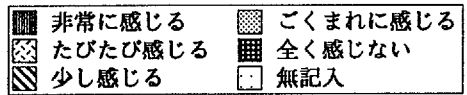
・あなたは、自分のやりたいことができずにあせりを感じますか。

単胎児育児

a	非常に感じる	10	11.8%
b	たびたび感じる	20	23.5%
c	少し感じる	31	36.5%
d	ごくまれに感じる	15	17.6%
e	全く感じない	9	10.6%
x	無記入	0	0.0%
計		85	100.0%

多胎児育児

a	非常に感じる	7	9.2%
b	たびたび感じる	16	21.1%
c	少し感じる	26	34.2%
d	ごくまれに感じる	14	18.4%
e	全く感じない	12	15.8%
x	無記入	1	1.3%
計		76	100.0%



図表9⑩

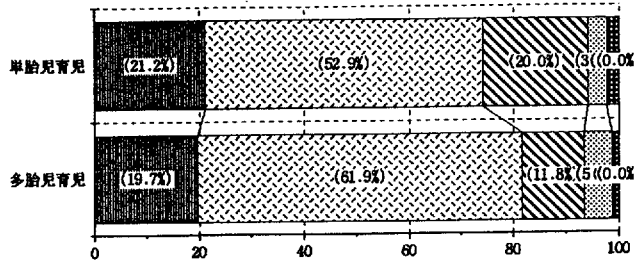
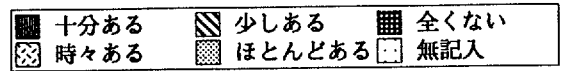
•あなたは、日中に子どもを連れて外出することがありますか。

単胎児育児

a	十分ある	18	21.2%
b	時々ある	45	52.9%
c	少しある	17	20.0%
d	ほとんどある	3	3.5%
e	全くない	2	2.4%
x	無記入	0	0.0%
計		85	100.0%

多胎児育児

a	十分ある	15	19.7%
b	時々ある	47	61.8%
c	少しある	9	11.8%
d	ほとんどある	4	5.3%
e	全くない	1	1.3%
x	無記入	0	0.0%
計		76	100.0%



図表9⑪

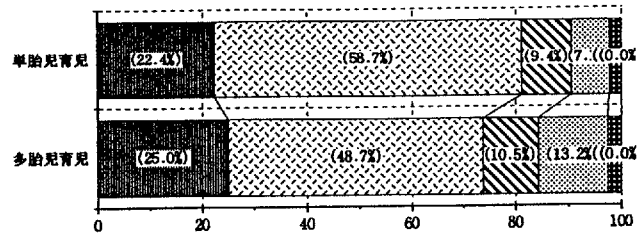
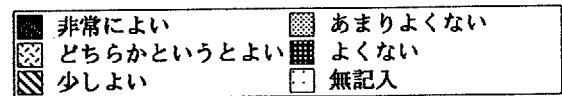
•あなたの家庭内の人間関係はいかがですか。

単胎児育児

a	非常によい	19	22.4%
b	どちらかというといよい	50	58.8%
c	少しよい	8	9.4%
d	あまりよくない	6	7.1%
e	よくない	2	2.4%
x	無記入	0	0.0%
計		85	100.0%

多胎児育児

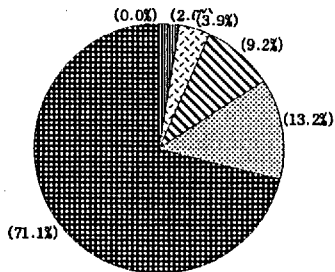
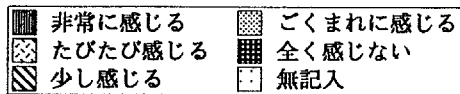
a	非常によい	19	25.0%
b	どちらかというといよい	37	48.7%
c	少しよい	8	10.5%
d	あまりよくない	10	13.2%
e	よくない	2	2.6%
x	無記入	0	0.0%
計		76	100.0%



図表9②

•あなたは、多胎児を出産したことで、家族関係が悪くなったと感じますか。

a	非常に感じる	2	2.6%
b	たびたび感じる	3	3.9%
c	少し感じる	7	9.2%
d	ごくまれに感じる	10	13.2%
e	全く感じない	54	71.1%
x	無記入	0	0.0%
計		76	100.0%

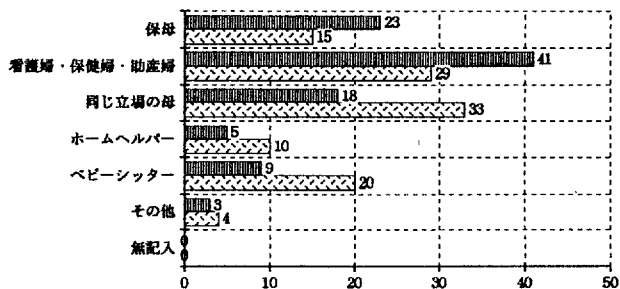


図表9③

•育児支援のために定期的に家庭訪問してくれる人はどんな職種の方がよいですか。

複数回答		単胎児育児	
1	保母	23	27.1%
2	看護婦・保健婦・助産婦	41	48.2%
3	同じ立場の母	18	21.2%
4	ホームヘルパー	5	5.9%
5	ベビーシッター	9	10.6%
6	その他	3	3.5%
7	無記入	0	0.0%

■ 単胎児育児 ■ 多胎児育児



複数回答		多胎児育児	
1	保母	15	19.7%
2	看護婦・保健婦・助産婦	29	38.2%
3	同じ立場の母	33	43.4%
4	ホームヘルパー	10	13.2%
5	ベビーシッター	20	26.3%
6	その他	4	5.3%
7	無記入	0	0.0%

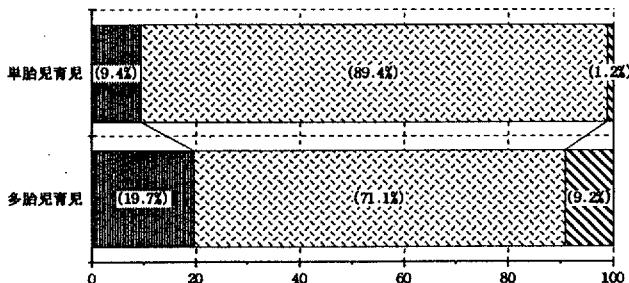
図表9④

•ヘルパーの援助が欲しいと思いますか。

複数回答		単胎児育児	
1	はい	8	9.4%
2	いいえ	76	89.4%
3	無記入	1	1.2%
計		85	100.0%

複数回答		多胎児育児	
1	はい	15	19.7%
2	いいえ	54	71.1%
3	無記入	7	9.2%
計		76	100.0%

■ はい ■ いいえ ■ 無記入

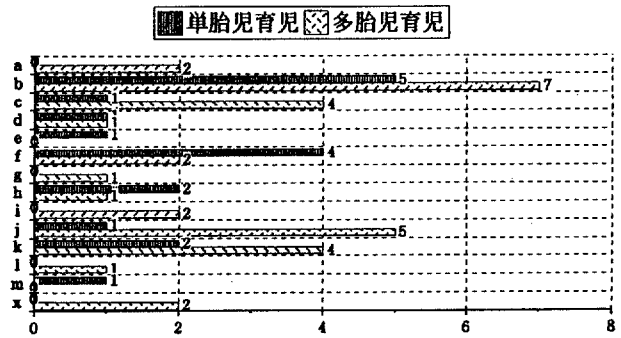


図表9⑤

- 来て欲しい順に3つ項目を選んで下さい。
- また、来て欲しい時間帯についても記入して下さい。

単胎児育児

a	0	0.0%
b	5	62.5%
c	1	12.5%
d	1	12.5%
e	1	12.5%
f	4	50.0%
g	0	0.0%
h	2	25.0%
i	0	0.0%
j	1	12.5%
k	2	25.0%
l	0	0.0%
m	1	12.5%
x	0	0.0%



多胎児育児

a	2	13.3%
b	7	46.7%
c	4	26.7%
d	1	6.7%
e	0	0.0%
f	2	13.3%
g	1	6.7%
h	1	6.7%
i	2	13.3%
j	5	33.3%
k	4	26.7%
l	1	6.7%
m	0	0.0%
x	2	13.3%

回答項目詳細

a	授乳
b	食事の準備(家族、子供の食事)
c	食事の後片付け
d	入浴
e	洗濯
f	掃除
g	おむつの交換
h	買い物
i	病院受診や健康診査、予防接種の同伴
j	遊び(散歩も含む)の世話
k	保育園等への送迎
l	就眠の世話
m	要介護家族の世話
x	無記入
	計

図表9⑥

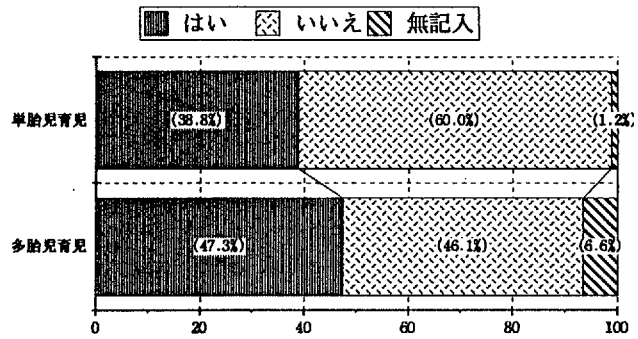
・出産に伴い、住宅の改造や家庭用品で大きい物を買ったことがありますか。

単胎児育児

1	はい	33	38.8%
2	いいえ	51	60.0%
3	無記入	1	1.2%
計		85	100.0%

多胎児育児

1	はい	36	47.4%
2	いいえ	35	46.1%
3	無記入	5	6.6%
計		76	100.0%



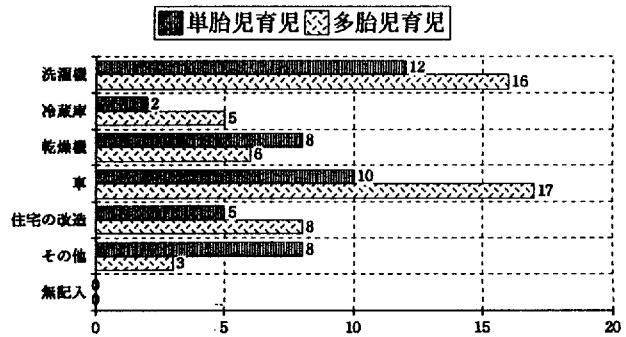
複数回答

単胎児育児

a	洗濯機	12	36.4%
b	冷蔵庫	2	6.1%
c	乾燥機	8	24.2%
d	車	10	30.3%
e	住宅の改造	5	15.2%
f	その他	8	24.2%
x	無記入	0	0.0%

多胎児育児

a	洗濯機	16	44.4%
b	冷蔵庫	5	13.9%
c	乾燥機	6	16.7%
d	車	17	47.2%
e	住宅の改造	8	22.2%
f	その他	3	8.3%
x	無記入	0	0.0%



図表9⑦

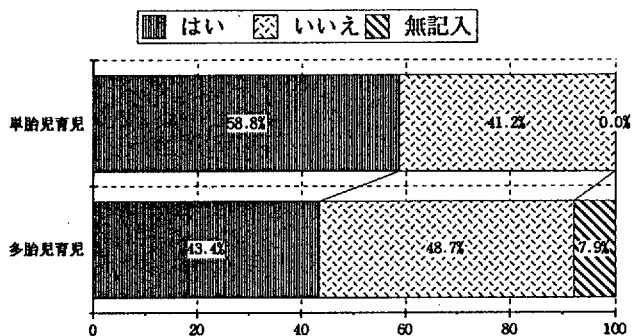
・実家より経済的支援はありましたか。

単胎児育児

1	はい	50	58.8%
2	いいえ	35	41.2%
3	無記入	0	0.0%
計		85	100.0%

多胎児育児

1	はい	33	43.4%
2	いいえ	37	48.7%
3	無記入	6	7.9%
計		76	100.0%



図表10

・育児等をするうえで行政にどのような支援を希望しますか。

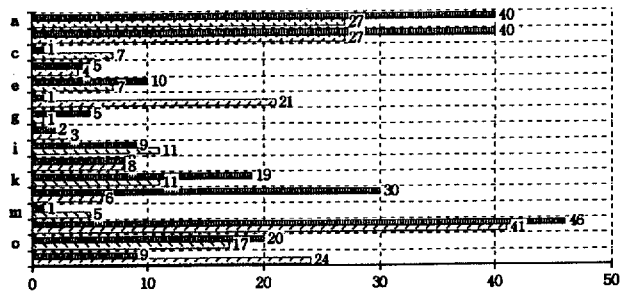
必要と思う項目を最大3つまで以下の中から選んで下さい。

a	出産育児一時金（出産時にもらえる分娩等の経費）の増額
b	市町村福祉医療制度（2才までの乳幼児に対する医療費の免除）の充実
c	養育医療（入院を要する未熟児に対する公費負担医療）の充実
d	育成医療（身体に障害を持つ児に対する公費負担医療）の充実
e	小児科医による巡回診療
f	多胎児妊婦や多胎児を育てている父母を対象にした「子育て学級」等の充実
g	母親・両親学級の充実
h	保健婦等の訪問指導の充実
i	乳幼児健診の回数が増
j	気軽にできる電話相談
k	産休・育児制度の充実
l	保育所・幼稚園などの受け入れ体制の充実（延長保育等含む）
m	県誕生一時金（4つ子50万円・5つ子100万円）の支給の対象の拡大・増額
n	児童手当（3才未満の児童を養育する場合当該児の数に応じてもらえる手当）の改善
o	緊急時の一時預かり
x	無記入

単胎児育児

a	40	46.5%
b	40	46.5%
c	1	1.2%
d	5	5.8%
e	10	11.6%
f	1	1.2%
g	5	5.8%
h	2	2.3%
i	9	10.5%
j	8	9.3%
k	19	22.1%
l	30	34.9%
m	1	1.2%
n	46	53.5%
o	20	23.3%
x	9	10.5%

■ 単胎児育児 □ 多胎児育児



多胎児育児

a	27	0.36%
b	27	0.36%
c	7	0.093%
d	4	5.3%
e	7	9.3%
f	21	28.0%
g	1	1.3%
h	3	4.0%
i	11	14.7%
j	8	10.7%
k	11	14.7%
l	6	8.0%
m	5	6.7%
n	41	54.7%
o	17	22.7%
x	24	32.0%



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:秋田県では4つ子以上の多胎児世帯を対象に要綱に基づき県単事業で多胎児支援を実施しているが、平成7年度、ストレス度調査やアンケート調査を行い要綱の見直しを試みた。5つ子の同居家族のストレス度調査では、ヘルパー等のサービスを受けているにもかかわらず、父親以外全員のストレス度が高く特に母親が最も高値を示した。このことから、多胎児の育児に伴う過重な肉体的、精神的負担のあることが判明した。又アンケート調査では多胎児世帯と単胎児世帯ではサービスの提供の主体が異なり、専門的な指導が多胎児世帯には求められていることが判明した。そこで行政として育児支援の体制づくりにさらに努力する必要性が示唆された。